

# シラバス

指定番号 247

商号又は名称：社会福祉法人 大阪自彊館

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	○研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージをもって実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。</li> <li>・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。</li> <li>・視聴覚教材の閲覧</li> </ul>
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。</li> <li>・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。</li> <li>・チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を理解する。</li> </ul>
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター・テキスト付属 DVD
------------	-----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	○介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ。</li> <li>・介護に関する基本的な視点（ICF、QOL、ノーマライゼーション）について理解する。</li> <li>・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 権利擁護について、QOLについて、虐待予防について、身体拘束について
②自立に向けた介護	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における自立とは何かを学ぶ。</li> <li>・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。</li> <li>・介護の予防の考え方について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 自己決定について、介護予防について
③人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の必要性</li> <li>・人権とは</li> <li>・世界の人権の潮流</li> <li>・差別とは</li> <li>・なぜ差別が生まれるか</li> <li>・高齢社会を巡る状況</li> <li>・高齢者の人権状況</li> </ul>
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	○介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ○介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護環境の特徴（施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など）を学ぶ。</li> <li>・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。</li> <li>・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> ADLについて、IADLについて、多職種連携について
②介護職の職業倫理	1.5	0.5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。</li> <li>・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職員としての職業倫理を理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 介護職に求められる行動規範について
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。</li> <li>・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 感染対策について
④介護職の安全	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。</li> <li>・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障がいについて学ぶ。</li> <li>・介護職自身の健康管理の方法（病気や障がいの予防と対策）について学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 介護職の健康について
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	○介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。</li> <li>・介護保険制度の基本的なしくみを理解する。</li> <li>・介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 基本理念、特定疾病、保険給付の流れ、ケアプラン、包括的支援事業について
②医療との連携とリハビリテーション	2	0.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職と医療行為の実情と経過について理解する。</li> <li>・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。</li> <li>・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 介護職員が行う医行為、訪問看護について
③障がい者総合支援制度及びその他の制度	3	0.5	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい福祉制度における障がいの概念について、その歩みをふまえて学ぶ。</li> <li>・障がい者総合支援制度の基本的な仕組みについて理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 自立支援給付、障がい支援区分認定について
(合計時間数)	9	2	7	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	○高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の とるべき（とるべきでない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護における コミュニケーション	3.5	2	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。</li> <li>・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。</li> <li>・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 人間的・効果的なコミュニケーション、言語的チャンネルと非言語的チャンネル、バイステックの7つの原則について
②介護における チームのコミュニケーション	2.5	1	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。</li> <li>・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。</li> <li>・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 読みやすい記録、報告・連絡・相談、会議について
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	○加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化についての考え方や学説について理解する。</li> <li>・老化が及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。</li> <li>・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。</li> <li>・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 老化の定義、心身機能の変化、血圧の変化について
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。</li> <li>・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 関節や骨の疼痛の原因疾患、骨粗鬆症について
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	○介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。</li> <li>・問題視するのではなく、人として接することを理解する。</li> <li>・できないことではなく、できることをみて支援することを理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 認知症ケアの視点について
②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。</li> <li>・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。</li> <li>・アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 物忘れとの違い、原因疾患、非薬物療法について
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。</li> <li>・認知症の人の行動と環境との関係について理解する。</li> <li>・その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 認知症の人にかかわる際の基本的なポイントについて
④家族への支援	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者の介護の負担を理解し、レスパイトケアの重要性を学ぶ。</li> <li>・家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> レスパイト、家族の力のいかし方について
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	○障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「障がいとはどういうものなのか」という考え方を学ぶ。</li> <li>・ ICF (国際生活機能分類) に基づきながら、「障がい」の概念について理解する。</li> <li>・ 障がい者福祉の基本理念 (ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン) について理解する。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本理念について
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がいの原因となる主な疾患を理解する。</li> <li>・ 障がいに伴う心理的影響、障がいの受容を理解する。</li> <li>・ 障がいのある人の生活を理解し、介護上の留意点について学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 障がいの分類、身体障がいの分類、中途視覚障がいの心理的プロセスについて
③家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族支援は、家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。</li> <li>・ わが国に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。</li> </ul> <b>【通信学習課題の概要】</b> 家族支援の視点、レスパイトサービスの定義について
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター
------------	------------



科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	○介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ○尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護の基本的な考え方	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。</li> <li>・「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】 介護の概念・定義、介護の見方・考え方の変化について</p>
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.5	2	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。</li> <li>・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。</li> <li>・自己概念と生きがい、老化や障がいの受容に関する基礎的な知識を理解する。</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】 記憶のしくみ、意欲のしくみ、生きがいと QOL の視点について</p>
③介護に関するからだのしくみの基礎知識	3.5	2	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の維持・恒常のしくみを理解する。</li> <li>・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する。</li> <li>・神経の種類と、そのはたらきを理解する。</li> <li>・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】 体温計・血圧計を用いたバイタルチェック</p> <p>【通信学習課題の概要】 ボディメカニクスの基本原則、中枢神経と末梢神経、内部機関に関する基礎知識について</p>
④生活と家事	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。</li> <li>・家事援助（調理、洗濯、掃除などの援助）は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。</li> <li>・家事援助とは何かについて具体的に理解する。</li> <li>・利用者の意欲・能力を阻害しない家事援助のあり方を理解する。</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】 家事援助のポイント、調理における主な留意点について</p>
⑤快適な居住環境整備と介護	3.5	3	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。</li> <li>・住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。</li> <li>・高齢者や障がいのある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】 家庭内における不慮の事故の防止、福祉用具貸与について</p>
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7.5	6	1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整容の必要性と、整容に関連するこころとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服着脱の基本的手順</li> <li>・ベッド上での衣服の着脱</li> <li>・洗面（顔の拭き方）</li> <li>・口腔ケアの方法</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】 身支度、洗面介助の留意点について</p>
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に	8	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗の必要性と、移動・移乗に関連するこころとからだのしくみを理解する。</li> </ul>

向けた介護				<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクスを用いた動作の基本</li> <li>・体位変換</li> <li>・車いすの使い方と介助方法</li> <li>・ベッド⇄車いす間の移乗</li> <li>・歩行、杖歩行時の介助方法</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>もっている力の活用と自立支援、体位変換の留意点について</p>
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の必要性と、食事に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の食品を用いた食事介助</li> <li>・自助具の使用法</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>摂食・嚥下の5分類、食事支援の視点について</p>
⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易浴槽を利用した入浴介助</li> <li>・足浴介助、清拭の方法</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>入浴の効果、入浴支援の視点、基礎知識について</p>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄の必要性と、排泄に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者本人の力を活用し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポータブルトイレでの排泄介助</li> <li>・おむつ交換の方法、パットのあて方</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>排泄とところの問題の関係、排泄の介護の原則について</p>
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3.5	3	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の必要性と、睡眠に関連するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・心地よい睡眠を支援するための知識と技術を身につける。</li> <li>・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。</li> </ul> <p>【演習の実施方法】</p> <p>ベッドメイキングの方法</p> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>睡眠支援の援助の視点、睡眠薬服用の注意点について</p>
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3.5	3	0.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期のとらえ方を学ぶ。</li> <li>・終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。</li> <li>・死に直面したときの人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。</li> </ul> <p>【通信学習課題の概要】</p> <p>終末期における変化の特徴、死の受容について</p>
⑬介護過程の基礎的理解	6	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的・意義・展開</li> <li>・介護過程とチームアプローチ</li> </ul>
⑭総合生活支援技術演習	6	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとに利用者のアセスメント、介護計画の作成を行う</li> <li>・個人ワーク、グループワークを通じて、利用者の心身の状況、ニーズに応じた介護の提供を考える</li> </ul>

(合計時間数)	75	63	12	
---------	----	----	----	--

使用する機器・備品等	PC・プロジェクター、車いす、テーブル、エプロン、自助具、いす、クッション、食器、吸飲み、とろみ剤、ポータブルトイレ、尿器、おむつ、おむつカバー、パッド、衣類、ベッド、車いす、テーブル、浴槽、シャワーチェア、バスボード、滑り止めマット、防水シート、リフト、足浴器、洗面器、陰部用洗浄容器、石鹸、シャンプー、リンス、ドライシャンプー、ゴム手袋、やかん、歯ブラシ、コップ、ベビーオイル、ヘアバンド、くし、ブラシ、カミソリ、ドライヤー、歯ブラシ、手鏡、マットレス、布団、毛布、掛け布団、枕、シート、洗濯カゴ、座布団、アイマスク、杖、腰痛ベルト、スライディングボード
------------	---

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	○研修を通じ学んだことを振り返り、介護職に求められるものを理解する ○継続的な学びの必要性を、具体的な事例等を基にイメージできる			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	2	2	-	・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと
②就業への備えと研修修了後における事例	2	2	-	・介護現場で学び続けるべき知識及び技術 ・上位資格取得への動機づけ ・介護職員職務内容及びその課題と解決方法について
(合計時間数)	4	4	-	